

いずも市議会だより



「敬老の日」
西林木町「いこいの郷」にて

●議会の動き2	●行政視察報告19
●委員会報告3	●採決の結果20
●請願・陳情・意見書7	●議会活動・編集後記24
●一般質問8		

いずも市議会だより 第22号
 発行日/平成22年(2010)10月28日
 編集/広報委員会 発行/出雲市議会
 TEL21-6579 FAX21-6251

9月定例会市議会 報告

平成21年度(2009)出雲市一般会計歳入歳出決算を認定するなど、45議案を議決しました。

議会の動き

9月定例会市議会では、執行部から44件の議案が提案されました。

「平成21年度(2009)出雲市一般会計歳入歳出決算認定について」などの決算案件20件について、適当と認め、認定しました。

また、「平成22年度(2010)出雲市一般会計第3回補正予算」などの予算案件5件、「ひらた健康福祉センターの設置及び管理に関する条例」などの条例案件7件、「出雲市過疎地域自立促進計画の策定について」などの単行議決案件9件、「人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて」などの人事案件3件が提案され、すべての議案を原案のとおり可決、または同意しました。

議員提出議案としては、「緊急的な米需給調整対策にかかる意見書」を提出し、原案のとおり可決しました。

平成22年度一般会計 9月補正予算

9月補正予算は、防災情報伝達システム整備事業など豪雨・降雪などに対応した生活安全対策をはじめとして、国県の補助金などの内示に伴うもののほか、7月梅雨前線豪雨災害復旧工事やゆうプラザ・平成温泉などの施設修繕工事を中心に補正するものでした。

単位:千円

区分	補正前予算	補正予算額	9月補正後予算	対前年度9月補正後予算比
一般会計	63,392,173	443,000	63,835,173	△5.9%

9月補正予算主要事業

防災情報伝達システム整備事業	108,400千円	農地有効利用支援整備事業	34,200千円
宅地流入土砂撤去費助成事業	1,000千円	介護保険施設整備事業	9,118千円
除雪機械固定維持費助成事業	3,000千円	道路・街路整備事業	25,000千円
定住推進事業	14,450千円	7月梅雨前線豪雨等による災害復旧事業	63,900千円
高松コミュニティセンター整備事業用地取得事業	123,000千円	健康増進施設修繕事業	34,500千円 など

平成22年度 第2回 出雲市議会(定例会)会期日程

開会 平成22年(2010)8月31日(火)

閉会 平成22年(2010)9月28日(火)

会期29日間

8月31日(火)	本会議(開会、議案上程・説明)	9月13日(月)	建設水道委員会
9月 2日(木)	本会議(一般質問・1日目)	14日(火)	予算特別委員会
3日(金)	本会議(一般質問・2日目)	17日(金)	決算特別委員会(1日目)
6日(月)	本会議(一般質問・3日目、議案質疑、委員会付託)	21日(火)	決算特別委員会(2日目)
8日(水)	総務委員会	22日(水)	決算特別委員会(3日目)
9日(木)	文教厚生委員会	24日(金)	決算特別委員会(4日目)
10日(金)	環境経済委員会	28日(金)	本会議(委員長報告、討論、採決、閉会)



常任委員会報告

過疎地域自立促進計画と防災行政無線の 住民負担無料化の陳情を採択

総務委員会

審査の付託を受けた案件は、条例二件、その他議案三件、陳情一件です。

議第三十三号「出雲市過疎地域自立促進計画の策定」については、過疎地域自立促進特別措置法が、平成二十八年の三月末まで六年間延長され、旧佐田町及び旧多伎町の区域が引き続き指定されることになりました。これに伴い、本年度から平成二十七年までの「出雲市過疎地域自立促進計画」を定めることについて議会の議決を求めるものであり、原案のとおり可決しました。

議第二十八号、議第四十二号「出雲市火災予防条例の一部を改正する条例」についても原案のとおり可決しました。

「陳情第三号」は、出雲市防災行政無線の設置及びデジタル化に関して、戸別受信機、屋外アンテナなどの設置における住民負担の無料化を求めるものです。内容審査の結果、採択すべきと決定しました。

なお、一部の委員から応分の受益者負担は当然であり、不採択すべきとの意見がありました。



防災行政無線（佐田町黒山中継局）

乳幼児等医療費助成拡充に関する 条例改正を可決

文教厚生委員会

審査の付託を受けた案件は、条例二件、請願二件であり、主なものとして「出雲市乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例」については、県の補助金交付要綱の一部改正に伴い、三歳から就学前までの乳幼児などの医療費について、自己負担額の軽減を図るため、医療費助成を拡充することに関し、条例を改正するものです。審査の結果、原案のとおり可決しました。

請願第四号「平成二十三年度私立認可保育所（園）関係予算等についての請願」については、認可保育所にかかる市単独の運営費補助金などの継続と拡充について。また、就学前の子どもの心身の発達を把握し、早期に対応ができるよう五歳児検診の実施など、現行の保育サービスを維持することを願意とし、すべての子どもが、質の高い保育を受けることができるよう求めるものです。審査の結果、採択すべきものと決定しました。なお、一部の委員からは趣旨採択すべきとの意見もありました。

乳幼児等医療費助成制度の変更内容

区分	負担割合	負担限度額(1医療機関・月額)		
		通院	入院	薬局・治療用器具等
3歳未満		負担なし		
3歳～就学前	1割	5,000円	10,000円	上限額なし
就学後～20歳未満			15,000円	入院時のみ1割負担(上限額なし)

↓

区分	負担割合	負担限度額(1医療機関・月額)		
		通院	入院	薬局・治療用器具等
3歳未満		負担なし		
3歳～就学前	1割	1,000円	2,000円	負担なし
就学後～20歳未満			15,000円	入院時のみ1割負担(上限額なし)

農業振興施策確立に関する 陳情を採択

環境経済委員会

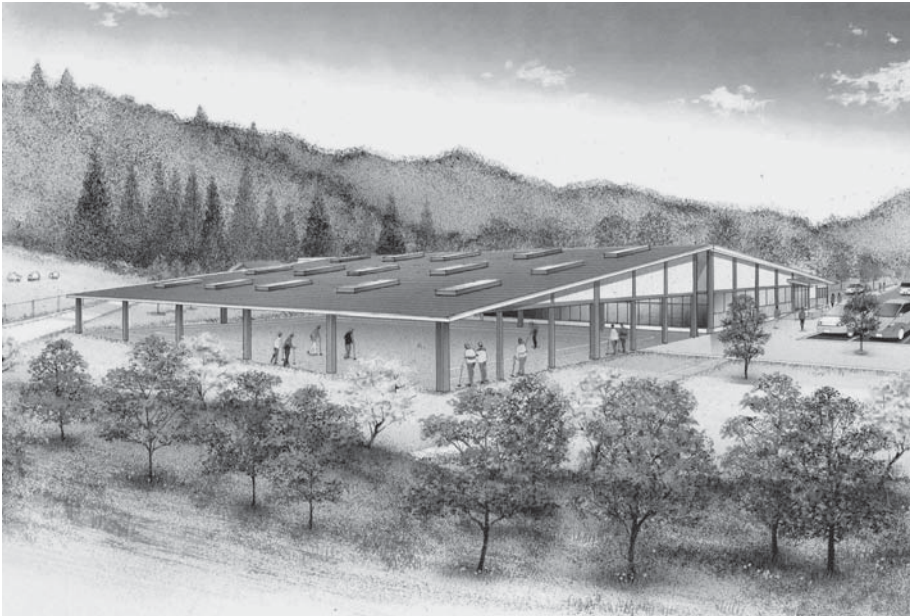
審査の付託を受けた案件は、条例一件、その他議案四件及び陳情一件です。

審査の結果、採択としました。なお、一部の委員から趣旨採択すべきとの意見がありました。

議第三十二号「出雲市飯の原農村公園の設置及び管理に関する条例」は、都市と農村の交流の促進及び地域の活性化を図ることを目的として、佐田町一窪田地内に設置する出雲市飯の原農村公園の施設内容、管理方法などについて必要な事項を定める条例を新たに制定するものです。

審査の結果、可決しました。

陳情第四号「出雲市農業振興施策の確立に関する陳情」は、第三菌床製造施設建設への補助金の上乗せ、新規就農者支援、家畜伝染病（口蹄疫等）対策、農業基盤整備・官地の除草対策、飼料米の流通経費助成、軽油引取税の免税措置の延長並びにぶどう産地維持と新たな品種の栽培方法確立について、市の支援を求めるものです。



飯の原農村公園の完成予想図（佐田町一窪田）

「出雲市水道事業・簡易水道事業及び 公共下水道使用料条例等の一部を 改正する条例」を可決

建設水道委員会

議第二十九号「出雲市水道事業給水条例及び出雲市簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例」は、出雲市水道料金等審議会の答申を受け、平均で九・六八%の水道料金を引き上げるものです。これは給水原価割れで供給する料金区分の見直しと、大口需要者の負担軽減が盛り込まれた条例の一部改正ですが、現下の厳しい経済状況を勘案して改定時期を一年繰り延べ平成二十四年度から施行となっています。

審査の結果、原案のとおり可決しました。なお、多くの委員から徹底した経営改革への取り組みなどにより一層のコスト削減、企業努力を求める意見がありました。議第三十号「出雲市公共下水道使用料条例等の一部を改正する条例」は、出雲市公共下水道使用料等審議会の答申に基づき、従量制及び人数制の使用料をそれぞれ平均で5%引き上げるものです。審査の結果、原案のとおり可決しました。なお一部の委員から接続率を上げるため一層の努力をするよう意見がありました。

【水道料金の県内他市などの状況】

単位：円

区分	出雲市 (現行)	※出雲市 (改定後)	斐川水道 企業団	松江市	雲南市	大田市	浜田市	安来市	益田市	江津市
20m ³ /月	2,496	2,816	2,574	2,908	3,430	4,798	2,599	2,613	2,940	4,788
30m ³ /月	3,909	4,406	3,897	5,743	5,530	8,315	4,605	4,135	4,462	7,098

※平成24年6月1日以後に算定する水道料金から適用されます。

【下水道の月額使用料の比較及び近隣自治体の状況】

単位：円

月水量	出雲市 (現行)	出雲市 (改定後)	松江市	安来市	雲南市	斐川町
8 m ³	1,197	1,260	1,300	1,194	966	1,097
10 m ³	1,197	1,562	1,300	1,543	1,239	1,097
20 m ³	2,635	3,200	2,700	3,344	2,604	2,430
30 m ³	4,368	5,111	4,500	5,454	4,494	4,163
50 m ³	7,833	9,101	8,100	10,179	8,274	7,628
100 m ³	18,333	20,126	18,600	23,252	20,349	17,760
200 m ³	41,643	44,486	42,600	56,852	44,499	40,335
500 m ³	117,243	123,866	122,100	157,652	116,949	114,990
1000 m ³	254,793	268,766	257,100	344,027	237,699	250,965

・人数制（井戸水等を利用し量水器で計測しない場合）の改定率は、従量制の基本料金の単価改定率と同じ平均5%引き上げる。



特別委員会報告

一般会計第三回補正予算などを可決 予算特別委員会

審査の付託を受けた案件は、議第二十二号「平成二十二年度出雲市一般会計第三回補正予算」、議第二十三号「平成二十二年度出雲市国民健康保険事業特別会計第一回補正予算」ほか三特別会計の合計五件です。補正予算の編成方針などの総括的質疑をはじめ、各補正予算の詳細について、質疑などを行い、慎重に審査しました。

一般会計補正予算は、歳入歳出予算をそれぞれ四億四千三百万円追加し、予算総額を六百三十八億三千五百七十七万三千円とするものです。歳出の主なものとして、次のものが計上されていきました。

☆総務費

住宅リフォーム助成金の追加や鷺地区での空き家活用事業などを行う定住推進事業 千四百四十五万円
災害により宅地等へ土砂が流入した際の撤去費用の助成 百万円

☆民生費

介護保険施設でのスプリングクラー整備費助成金の追加分 九百一十一万八千円
生活・介護支援サポーター養成事

業 三百万円

☆衛生費

平成温泉、北山健康温泉、ゆうプラザ、クアハウス湖陵の改修・修繕費 二千四百五十万円

住宅用太陽光発電システム設置費補助金の追加分 七百二十万円

☆農林水産業費

農地有効利用支援整備事業 三千四百二十万円

☆土木費

除雪機械の固定維持費助成 三百万円

☆消防費

佐田地域で設置を始めるデジタル式防災行政無線整備工事費 一億八百四十万円

☆災害復旧費

七月の梅雨前線豪雨などに伴い被災した農地、農業用施設、林道、市道及び河川の災害復旧費 六千三百九十万円

審査の結果、可決しました。

そのほか、四特別会計の補正予算についても可決しました。

執行部には、委員からの指摘・要望事項に留意し、適切な予算の執行にあたるよう要望しました。

9月補正予算主要事業

★地域生活安全・安心対策

防災情報伝達システム整備事業	108,400千円
宅地流入土砂撤去費助成事業	1,000千円
除雪機械固定維持費助成事業	3,000千円

★定住推進・文化振興

定住推進事業	14,450千円
住宅用太陽光発電システム設置費補助	7,200千円
出雲総合芸術文化祭開催事業	2,900千円
図書館地域づくり事業	1,900千円
高松コミュニティセンター整備事業用地取得事業	
<債務負担行為設定>	123,000千円

★産業・観光振興

観光文化振興事業	2,800千円
門前町再生事業	1,500千円
アンテナショップ開催事業	2,000千円

産業コーディネーター育成事業	1,815千円
農地有効利用支援整備事業	34,200千円
農地制度実施円滑化事業	6,000千円

★保健・福祉

乳幼児等医療費助成事業	4,150千円
介護保険施設整備事業	9,118千円
生活・介護支援サポーター養成事業	3,000千円
母子保健システム強化事業	3,200千円

★道路整備

道路・街路整備事業	25,000千円
-----------	----------

★災害復旧

7月梅雨前線豪雨等による災害復旧事業	63,900千円
--------------------	----------

★施設修繕

健康増進施設修繕事業	34,500千円
生涯学習施設修繕事業	2,500千円



7月豪雨災害での道路被害

予算特別委員会

委員長

宮本 享

副委員長

多久和康司

委員

西村 亮

遠藤 力一

山根 貞守

萬代 輝正

川上 幸博

高野 成俊

板倉 明弘

萬代 弘美

原 隆利

長廻 利行

透明性を高め、
一層の行財政改革を望む

決算特別委員会

本委員会に付託された案件は、平成二十一年度一般会計及び十七の特別会計、並びに水道事業と病院事業会計、合わせて二十の会計の決算認定です。

平成二十一年度は長岡市政の一年目であり、施政方針で示された、①開かれた市政、②財政の健全化、③産業振興の三つの柱がどのように成果を収めたのか、また、適正に予算が執行されたのかについて、十二人の委員で四日間にもわたり慎重に審査しました。

平成二十一年度の決算概要を見ると、一般会計と特別会計を合わせた総額は、歳入が対前年度比五・七%減の千八百九億一千万円、歳出が四・九%減の千七百七十七億二千万円、収支差引額十一億九千万円で、これから翌年度に繰り越すべき財源の一億五千万円を差し引いた実質収支額は十億四千万円の黒字という結果でした。一般会計では、前年度繰越金や積立金及び繰上げ償還金の要素を控除した実質単年度収支は、四億八千万円の黒字になりました。

また、合併以降初めて二億円の財政調整基金を積み増しました。起債残高も一般会計と特別会計合わせて千九百六十四億三千万円で前年度より十八億九千万円減少するなど、

財政健全化に向けて一歩を踏み出した一年であったと総括できます。しかし、七つの特別会計で実質単年度収支は赤字になっており、一般会計や基金の取り崩しによって赤字補てんする財政構造には変わりなく、本市の財政状況は改善の兆しが見えるものの依然として厳しいものになっています。

今年度から本委員会が審査することになった水道事業では、販売原価が販売価格を上回り、安定的な事業運営が危ぶまれる状況になっていいます。水道料金の値上げでことを済ますのではなく、収納対策を含めた営業努力や、長期的な視野で事業計画を変更するなど、経営改善の努力が必要との指摘をしました。また、病院事業では二十一年度は四億円弱の純損失を計上し、十四年連続の赤字決算となりました。総合医療センター全職員の意識改革、未収金対策、常勤医師の確保など、安定した経営環境を築くよう、一層の努力を求めました。

さて、今回の審査でもっとも時間を費やしたのは、神門コミュニティセンター機能補完対策補助金についてでした。この補助金は、平成十七年三月の合併前に、出雲市、神門自治協会、NPO法人国際交流フ

ワー21の三者で覚書を締結し、毎年四百万円を限度に神門自治協会へ支出されていたものです。目的は、神門コミュニティセンターが狭いいため、その補完施設として「多目的会館フローラいずも」を利用するものです。しかし、予算書や決算資料にはこの補助金についての明確な記載や説明もなく、また、利用実態に対するチェックもずさんであったことから、公平性に欠き、執行部が意図的に隠していたのではとの意見もありました。執行部からは補助金のあり方について関係者と協議し、適切な執行に努めるとの説明があり、また、議会としても、

正副議長から市長に是正を申し入れました。

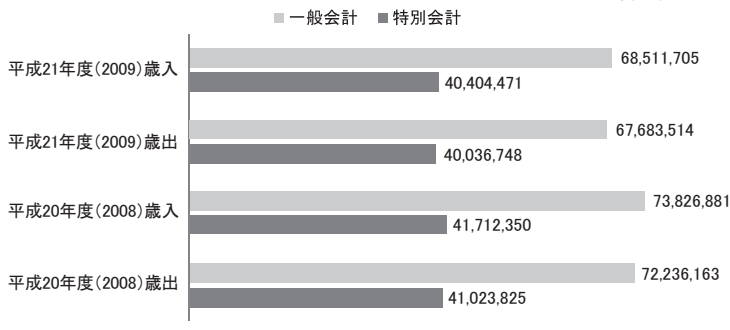
次に、決算書やその附属資料である「主要施策の成果」は事業の詳細が分かりにくいとの意見が多く、執行部から今後はわかりやすく工夫するとの回答がありました。

また、税や料金では、本来入るべき収入のうち、一般会計と特別会計で十五億九千万円の未収金があり、平成二十一年度に比べ減少

はしているが、さらに収納対策に努力すべきとの申し入れをしました。

審査の結果、今後一層の行財政改革に取り組みとともに、さらなる市民の福祉向上に寄与されるよう、透明性を高め、効果的かつ適正な予算の執行に努めていただきたいことを申し添え、平成二十一年度の一般会計、特別会計、事業会計いずれの案件も認定すべきものと決定しました。一般会計については、一部の委員から不認定にすべきとの意見がありました。

平成20・21年度(2008・2009)一般会計・特別会計決算の比較 (単位:千円)



決算特別委員会

委員長

広戸 恭一

副委員長

板垣 成二

委員

飯塚 俊之

小村 吉一

松村 豪人

板倉 一郎

多々納剛人

直良 昌幸

勝部 順子

米山 広志

荒木 孝

古福 康雅

請願・陳情の審議結果

【請願】

請願番号	件名	提出者	審議結果
4	2011年度(平成23年度)私立認可保育所(園)関係予算等についての請願	出雲市大津町 出雲市認可保育所(園)理事長会 会長 原 成充 他1名	採 択 に 賛成多数
5	子宮頸がんの予防ワクチン接種への公費助成と、乳がん・子宮頸がんの無料検診の継続実施についての請願	出雲市知井宮町 女性の健康を考える白ゆりの会 代表 遠藤 和子	趣旨採択 に 賛成多数

【陳情】

陳情番号	件名	提出者	審議結果
3	出雲市防災行政無線の設置及びデジタル化に伴う住民負担の無料化についての陳情	出雲市佐田町佐津目 佐田自治協会 会長 伊藤 國昭 他2名	採 択 に 賛成多数
4	平成23年度出雲市農業振興施策確立に関する陳情	出雲市今市町 いずも農業協同組合 代表理事組合長 米原 稔 他1名	採 択 に 賛成多数

意見書の審議結果

意見書番号	件名	審議結果
2	緊急的な米需給調整対策にかかる意見書	原案可決 に 全員賛成

請願・陳情のご案内

請願・陳情は、皆さんの意見・要望を市政に反映させる重要な制度で、この制度によりどなたでも、市議会に直接要望することができます。

請願は出雲市議会議員が1名以上紹介議員となることが必要で、陳情は必要ありません。

請願と陳情の審査は、基本的に同じ取扱いとし、所管の常任委員会で審査した後に、本会議で結論を出します。(ただし、国などへ意見書を提出して欲しい場合は、請願のみ受け付けることとしています。)

◆提出時に留意していただきたいこと

- 日本語で、次の点を記載してください。(内容を表す件名、要旨、内容、提出年月日、代表の方の住所、氏名、押印、電話番号)
- 請願の場合は、紹介議員の署名または記名押印が必要です。
- 提出部数は、1部です。
- 請願書や陳情書の審議結果については、提出者にお知らせします。
- 提出された請願書・陳情書の内容、提出者(2人以上の場合は代表者)の氏名(名称)と住所(所在地)は、公表されますので、あらかじめご了承ください。

請願書(陳情書)

年 月 日

出雲市議会議員 様

代表者 住所
氏名 印
電話 -
紹介議員
氏名 印

〇〇〇〇〇〇〇〇に関する請願(陳情)

要旨

内容

書式例

市政のここが聞きたい 一般質問

9月定例会市議会では20人の議員がそれぞれ以下の項目について質問を行いました。1人1問ずつ選んで(◎印のもの)掲載しています。なお、原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

米山広志 議員

(9ページ)

- ・児童虐待
- ・道路工事の施工承認制度
- ◎第三セクター等の投資及び出資金

荒木 孝 議員

(9ページ)

- ・小、中学校、幼稚園の校庭、庭園の芝生化事業への取り組みについて
- ◎斐川町との救急消防事務受委託について

勝部順子 議員

(10ページ)

- ◎高齢者不明問題の認識と対応について
- ・大阪の幼児遺棄事件に関して
- ・食育実践「子どもが作る弁当の日」の取り組みについて
- ・子育て応援カードの取り組み

曾田盛雄 議員

(10ページ)

- ◎農業の現状と管理は

大国陽介 議員

(11ページ)

- ・国民健康保険の保険料引き下げと資格証の発行中止、国保法44条に基づく一部負担金の減免制度の早期実施などについて
- ◎市民生活を追い込む上下水道料金の引き上げは直ちに撤回を
- ・中小企業振興条例の制定を

小村吉一 議員

(11ページ)

- ◎学校の多忙化とその解消を
- ・「出雲弥生の森博物館」の開館と今後の展開について

杉谷寿之 議員

(12ページ)

- ◎日御碕地区における諸問題について

板倉明弘 議員

(12ページ)

- ・コミュニティセンター職員の資質・能力向上施策について
- ◎利用しにくいと言われる「介護サービス情報の公表」制度の改善を

板倉一郎 議員

(13ページ)

- ◎出雲市行財政改革（公共施設）について
- ・公営事業および第3セクターの改革について

原 隆利 議員

(13ページ)

- ・出雲ブランドの行方
- ・近づくトキ分散飼育
- ◎「個人情報保護」が地域自治を破壊する

萬代弘美 議員

(14ページ)

- ◎高齢者の見守り、生活支援など社会的「孤立」をなくす対策を
- ・特別な支援を必要とする子どもたちが安心して学べる特別支援学級の拡充を進めることについて
- ・2012年の介護保険改定に介護の実態、関係者の声を反映させ抜本的な見直しを求めることについて

狩野正文 議員

(14ページ)

- ◎出雲市立向陽中学校（平田東部新中学校）の開校に伴う生徒異動について

木佐 宏 議員

(15ページ)

- ・新市におけるテニスコートの改良、修繕の公平性を求める事について
- ◎虚像長岡施政を斬る第1弾

飯塚俊之 議員

(15ページ)

- ◎改正省エネ法への対応について

山根貞守 議員

(16ページ)

- ◎公共施設への地元大工・左官業への発注について
- ・少子化対策について
- ・市道の排水路及び溜め桝等の管理状況について

遠藤力一 議員

(16ページ)

- ◎子宮頸がん予防ワクチンの公費助成について
- ・小・中学校に学校図書館司書の配置はできないのか
- ・樹医制度に関して

珍部全吾 議員

(17ページ)

- ・長岡市長の独自政策について
- ◎米粉パンの需要拡大について

宮本 享 議員

(17ページ)

- ・出雲市の特別支援教育について
- ・市内小学校の服装と卒業式のあり方について
- ◎出雲市への看護学校誘致について
- ・地籍調査の現状と今後の進め方について

福代秀洋 議員

(18ページ)

- ◎土砂災害（特別）警戒区域の設定について
- ・省エネルギービジョンアクションプランについて

高野成俊 議員

(18ページ)

- ◎小中学校冷房化事業の導入について
- ・新たなバス交通システムの導入について

米山 広志

第三セクターなどの 今後の整理方針は



では積極的な見直しをしていく考えです。

問 出雲市は、公社、協会、財団、株式会社などに投資、出資を行っている。

①投資及び出資している団体の数と額。

②関係する団体への出雲市からの役員就任状況。

③第三セクターなどの今後の整理方針。

市長

①現在、市が投資や出資を行っている団体は、全部で四十法人です。出資金などの合計は十五億円弱です。そのうち、出資割合が五十%を超える第三セクターなどは、十一法人です。その十一法人の出資金の合計は十億円弱です。

②役員を派遣しているのは十三法人で、のべ三十四人の役員を派遣しています。

③出雲市行財政改革第二期実施計画の中で取り上げています。出雲総合卸売市場、出雲典札、出雲ケーブルビジョンなどです。自立した運営が見込まれる法人やそれぞれの設立当時の経緯、目的などから、その役割を終えようとしている支援事業、もしくは終えたと思われる法人について



議会から民営化の申し入れがされている総合地方卸売市場

荒木 孝

どうする斐川町との救急・消防業務受委託



市長

議会で否決されたら合併協議そのものが終わり、このまま何もしなければ三月二十一日で救急・消防業務受委託の契約は失効します。

問 自治体の一番の住民サービスは「住民の安心・安全、生命・財産を守る崇高なる責務」とされている。斐川町は、単独での救急・消防業務は財政上、不可能であるとの考えである。今日まで斐川町においては、何の努力も無く、委託料を払うから出雲市が受託して当たり前であるとの考えであるが、所見を伺う。

市長

自治体の責務として、市民の生命、財産を守ることは、最も最優先に取り組むべき課題です。消防組織法では「国民の生命、身体及び財産を火災から保護し、災害などによる傷病者の搬送を行うこと」が義務付けられています。また、区域における消防業務を十分に果たす責任が、明確に定められています。合併協議も終わり斐川町では住民説明会をされ、町民の最後の判断でおのずと消防問題も解決します。

問

合併の調印式も終わり、予定されている斐川町議会において、合併に関する議案が否決されたらどうなるか伺う。



出雲市消防本部の救急車

勝部順子
**高齢者の行方不明問題、
 出雲市の状況は**



問 全国で百歳以上の高齢者の所在不明問題が相次いでいる。役所内で所在不明の情報共有されないなど、縦割り行政の弊害が浮き彫りになっている。行政に携わる者の、意識改革が求められている。

①出雲市の調査状況。

②地域住民の見守り活動の状況。

③民生委員の役割が重要だが、待遇や定員増などに取り組み考えはないか伺う。

市長

①百歳以上の高齢者は七十八名。また、本年度中に百歳に到達予定の三十六名をあわせた百十四名の方を、介護保険利用状況、医療機関の受診履歴などで確認しました。その結果、百十四名のうち百十二名は所在を確認しました。利用実績のない二名については、民生委員の協力で直接所在を確認でき、所在不明者はありませんでした。

②安心創造事業は、出雲市社会福祉協議会へ委託し、出雲地域と平田地域の八地区で実施し、九十三世帯を定期的に訪問しています。来年度には、対象区域を拡大します。



高齢者福祉大会での県立大学短期大学部出雲キャンパス 山下副学長の講演

健康福祉部長

③民生委員さんには、日夜大変な業務を担っていただいていることに感謝をしています。しかし、待遇改善については現時点で考えていません。定員増については、厚生労働省が示す人口当たりの定員と比較すると、やや多い状況で、増やすことは難しいと思います。

河内副市長

家畜伝染病については、法の規定で、基本的には国なり県が主体的に防疫措置を行います。法定伝染病が発生した場合に備えて市は国、県、関係団体と協力連携し防疫措置を行うこととしています。埋却地の確保については、家畜伝染病の発生を想定し、今回の宮崎県の事例を参考に、あらかじめ対応しておくという事は非常に重要です。本市では家畜の飼育頭数が多い畜産農家について、埋却が可能な場所のリストアップの作業に着手しました。引き続き適地の確保に努めます。

問 宮崎県で十年ぶりに発生した家畜の伝染病口蹄疫については、宮崎県だけではなく日本全体国を挙げての防疫対策のむずかしさ、地域経済との絡み、それに対するの教訓など、様々な問題を投げかけた。対岸の火事であったと終わらせることなく、将来の畜産業の発展のためにも防疫対策の検証と、マニュアルづくりが必要と考える。

家畜伝染病（口蹄疫、鳥インフルエンザ）対策と殺処分した家畜及び汚染物の埋却地の確保について伺う。



市内の畜産農家

曾田盛雄
宮崎県口蹄疫対策に学ぶ



大国陽介

上下水道料金の引き上げは撤回を



問 上下水道料金が審議会の答申に基づき、上水道で九・六八%、下水道で十一・二七%の値上げが実施されようとしている。深刻さを増す不況の下で、これらの値上げは行うべきではない。撤回を求める。

市長

市民の日常生活を支えるためにも良質な水道水を安定して提供することが水道事業にとって最も重要な使命だと考えています。そのためには、施設の適正な管理、機能の向上、老朽施設の更新など、多くの課題を解決しなければなりません。使用水量が減少する中、独立採算で運用している水道事業としては、必要な収入の確保は料金によらざるを得ず、安定的な経営のためには一定の値上げは仕方がないと考えています。ただし、経済の見通しが明確でなく、円高などの状況も発生する中で、市民生活の影響を考慮し、審議会で二〇一一年四月からとされた値上げの実施時期については、一年先延ばしにするという判断をしました。

問 一年後に経済状況が良くなる保証はどこにも無い。今決めてしまえば自動的に値上げになるというのが今回の条例改定だ。

上下水道局長

水道事業者としての企業努力で耐えていこうというもので、我々の立場としては一年が限度。ご理解願います。



生活に欠かせない水道

小村吉一

じっくりと子どもたちと向き合える教育を ―学校の多忙化の解消を求める―



問 一昨年山陰中央新報社が「月百時間残業が一部」という見出しで、県立学校教職員の勤務実態が県教育委員会の調査で明らかになったと報じました。市教育委員会として、学校の多忙化の現状をどのように把握されているのか伺う。

教育部長

平成十八年の調査によると、超過勤務時間は、週当たり小学校が平均八・六時間、中学校が十三・一時間で、小学校では八十四%、中学校では八十六%の教職員が多忙感があると回答しています。

職員には、医師の面接を行うことになってきている。その該当者はあったのか。

教育部長

年三回、管理職と教職員との面接を行っているが、教育委員会として全市的な調査は行っていません。

問 全教職員の勤務実態調査の早急な実施を求める。

教育部長

校長会とも協議し、検討したいと考えます。

問 多忙化解消のために、どのような手立てをされ、どのように改善されたのか。

教育部長

学校事務支援センターを設置し、教員の一般事務量を軽減したり、一部の学校に非常勤講師を配置したりしているが、十分とは言えない状況です。

問 県の通達で、月当たり超過勤務時間が百時間を超える教



子らのために、時を忘れて

杉谷寿之

日御碕地区の諸課題



問 ①昨年の六月に続き今年の七月も県道日御碕線が豪雨により崩壊し全面通行止となった。今なお片側交互通行を余儀なくされている。トンネルやバイパスをはじめ根本的な解決をめざすべきで、これは県内全体の問題だ。

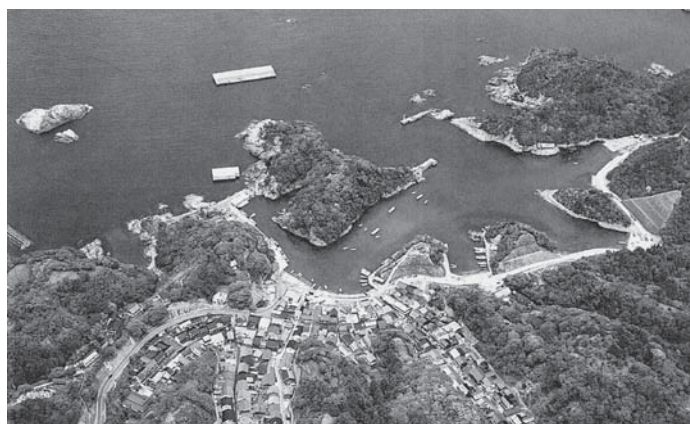
②「日沈宮」として有名な日御碕神社は、よく伊勢神宮の「日の出」と対峙される夕日の宮である。御碕周辺の遊歩道の再整備や大社、日御碕間の見晴らしを保全するための雑木伐採などを行い、全国夕日サミットの開催に力を入れるべきだ。

③宇龍地区は上下水道事業や多目的広場の整備が整い、飛躍的に環境がよくなった。中でも「臨港道路」六百六十メートルの完成は、多くの効果が期待できる。この地区の海岸風景は大山隠岐国立公園内でも屈指であり周辺整備に力を入れるべきだ。

市長

①県道災害復旧は、年度内完成をめざしています。バイパス建設は多額の費用を要し現段階では無理です。現在、道路整備に一億五千六百万円を予算化し対応しています。

②日御碕の夕日は、北半球で一番美



整備された日御碕宇龍漁港周辺

しいといわれています。この魅力あふれる御碕を観光に活かしていきたいです。海岸の雑木の除去や夕日サミットについては、協議すべきと考えています。

③臨港道路の整備により栽培漁業施設としてのヒラメ中間育成施設はアクセス適地となり有用です。桁掛半島への遊歩道は今後の利用状況をみて対応を考えます。

板倉明弘

介護サービス情報の公表を利用しやすい制度に改善を求む



問 介護保険制度の中で利用者が介護サービスや事業所・施設を比較・検討して適切に選ぶために、平成十八年四月から「介護サービス情報の公表制度」がスタートした。しかし、この制度は、サービス利用者から活用しにくいとの声がある。この制度の利用状況と問題点、利便性向上のための改善策や、市独自の介護支援事業所マップなどを作成する考えはないのか伺う。

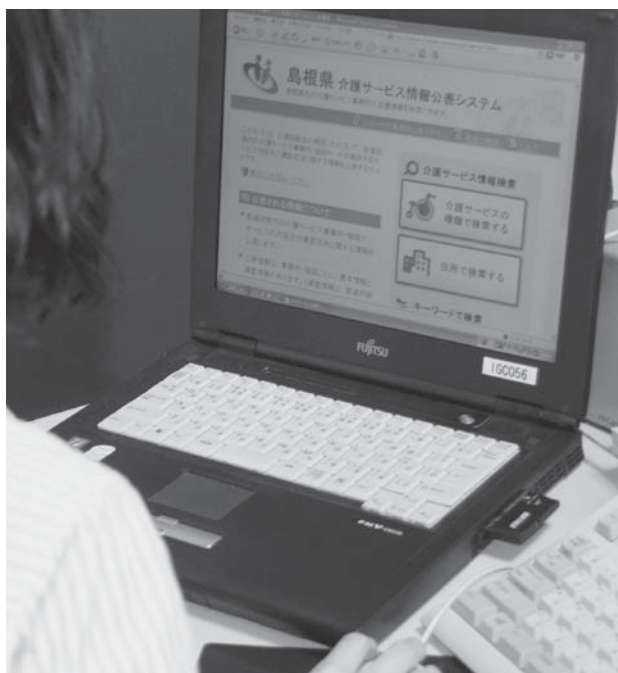
健康福祉部長

インターネット上で公表されている情報の内容は、運営する法人の状況、サービス提供事業所の従業者の状況、運営方針、サービス内容、利用者や設備の状況、また利用料などです。

鳥根県の公表システム利用状況は、一日平均、六十五件とわずかであり、利用者側より介護

福祉関係者側の利用の方が多い状況です。

パソコン操作の複雑さ、大量の情報資料により比較が容易に出来ないなど指摘されています。画面上で事業者間の比較が簡単にできるような国に改善要望をします。また、今議会に提案しているあんしん支援センターの機能強化にかかる事業の中で、介護サービス支援機関の所在地マップの表示・印刷システム開発・運用があります。利用者に必要な情報を的確に提供できるようにします。



介護サービス情報はインターネットでご覧になれます

板倉一郎

公共施設のあるべき姿は



問 ①出雲市が管理する建築物などの数と今後十年間の維持管理費を伺う。②温水利用施設などで安定した経営が見込まれる施設の間譲の考えを伺う。③今後の施設の新設の計画について伺う。

市長 ①七百九十六施設の中で、市民に密接な関係のある公営住宅、庁舎、幼稚園、小中学校、温浴利用施設など、百八十カ所です。それらの維持管理費は、二百八十億円程度と試算したところですが、新設にやや偏った感のある建設事業から、既存の施設の長寿命化の方針に変更する必要がありますと考えています。

②民間に移譲して、自立した運営が見込まれる施設、よりよい運営が出来る施設は、可能な限り民間への移譲を検討したいと考えています。

③学校やコミュニティセンターなど身近な施設の老朽化による建替え、耐震化への対応を優先し、新たな施設建設は極めて困難な状況です。ちなみに、幼稚園、小中学校に限定し、今後六十年間の整備計画を検討したところ、千億円程度の経費が見込まれます。



出雲市役所本庁舎

問 今後、旧宍道邸、旧石橋邸などのような民間の建築物施設の購入の考えはあるのか。

市長 今後は、市としての取得は考えていません。

原 隆利

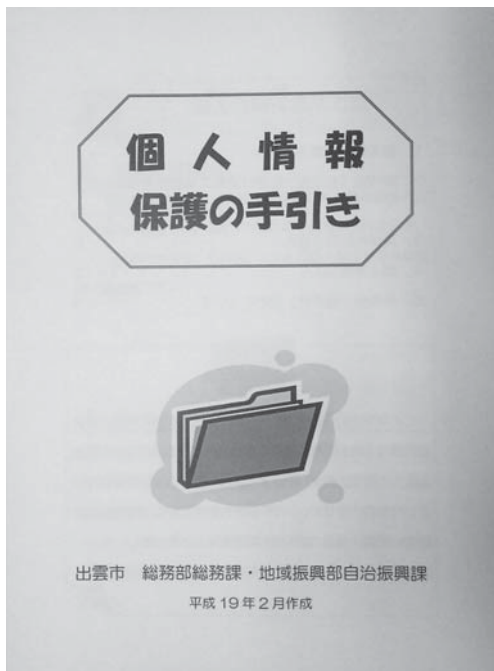
「個人情報保護」が地域自治を破壊する



問 個人情報（プライバシー）の保護が声高に叫ばれ、地域の連帯意識、地域コミュニティが損なわれている。不明老人や児童虐待の防止にも関わる大切な問題だ。効率的な行政を進める上でも、個人情報保護に対する誤解や過剰反応を防ぐ手立てを講じるべきだ。

と、また国の機関や、自治体は適切な解釈、運用を行うことを明記しました。本市では、「個人情報保護の手引き」を平成十九年二月に全町内に配布しました。今後も情報収集については、目的の明確化、目的外の利用・提供はしない、適正に管理する、などの個人情報保護法の趣旨を、正しく理解いただけるように自治協会などに情報提供を行っていきます。合わせて広報・ホームページを充実させていきます。

市長 プライバシー意識の高まりとともに、個人情報保護の過剰反応が生じています。これにより地域の情報共有が成り立たなくなっています。地域の連帯を保ち、交流活動の推進により、住民のコミュニケーションを深めることが、より良い地域づくりにつながります。内閣府は過剰反応に対する取り組みとして、平成二十年四月に、法の一部を改正し、個人情報の適切な取り扱いについて、積極的な広報、啓発活動を行うこと



市が配布した「個人情報保護の手引き」の活用が望まれる

萬代弘美

熱中症対策など高齢者の命を守る 見守り、生活支援の強化を



問 全国各地で、所在や生存がわからなくなっている高齢者や、猛暑のなか熱中症で倒れたり亡くなる人が相次ぐなど、高齢者の社会的孤立が深刻化している。高齢者福祉に対する行政の責任が大幅に後退しており、見守りと支援体勢の強化が必要だ。

① 出雲市の現状はどうか。
② 熱中症対策として、適切な情報提供や電話相談窓口の設置をはじめ、エアコン設置、電気代の助成を実施すべきではないか。
③ 市営住宅などでは、一人暮らしや高齢者世帯が増えており、取り残される高齢者が生まれない支援を強く求める。

健康福祉部長

① 行方不明者問題は、百歳以上の方七十八人と新しく百歳になられる三十六人の所在が確認できており、所在不明者はいません。

孤独死は、この一年間で十一人です。熱中症で病院に救急搬送された人は五十二人。その内、高齢者は二十一人で、亡くなられた方はありません。

② 熱中症対策は、広報いずもや地域

の健康教室、ふれあいサロンなどで注意喚起、情報提供をしています。エアコン経費助成など行うことは困難です。
③ 保健師が市営住宅など担当地区を受け持ち、健康相談を行い、個別に支援の必要な方へは、あんしん支援センターと健康増進課の保健師が連携をとって訪問します。

市が行う支援事業の例

- 老老介護支援事業（10月1日より実施）
要介護状態の高齢者および要介護者を在宅で介護している家族に、介護者などの介護負担の軽減、要介護者の在宅生活の継続を支援することを目的に、日常生活上の家事援助などの生活支援サービスの利用を助成します。
- 事業対象者 次の要件をすべて満たす世帯
市内の65歳以上の高齢者のみで構成される世帯
要介護3以上の認定を受けている人がいる
世帯の全員が住民税非課税
- 助成内容 月額3,000円の利用券を支給

狩野正文

出雲市立向陽中学校の 開校に伴う生徒異動方針は



問 平成二十五年四月に開校が予定されている出雲市立向陽中学校への生徒異動について、昨年十月に、平田中学校在学の一、二年生も開校時に新中学校に異動するとの方針が、地元で提示され、本年七月八日に、灘分小学校の保護者に対してこの異動方針の説明がなされた。この異動に対して、保護者や生徒の不安をどう解消するのか。

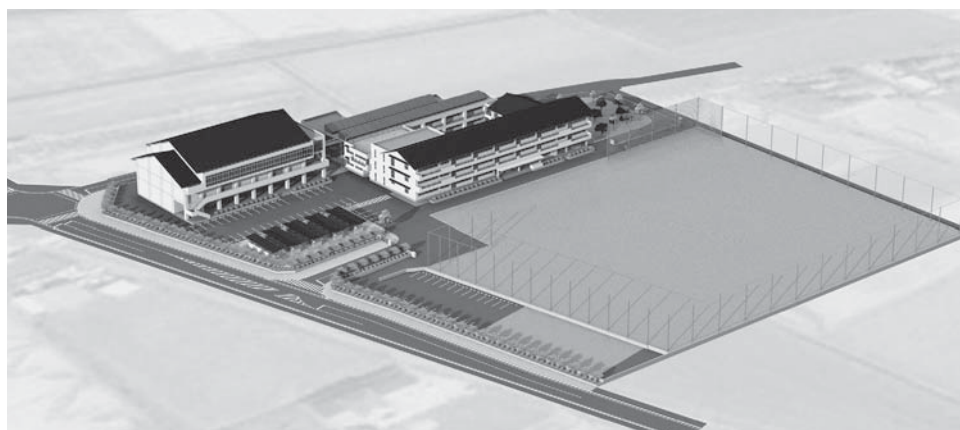
教育長

平成二十五年四月開校予定の向陽中学校は、現旭丘中学校区の檜山東、伊野の三地区に、現平田中学校区の灘分地区を加えた四地区を校区とする新設中学校です。

教育委員会では、地域と学校の一体感を重視し、開校時には四つの地区の生徒が一斉に向陽中学校に入学するという生徒異動方針により、期成同盟会や地元関係者、当該四つの小学校保護者に説明してきています。

しかし、平田中学校から向陽中学校に中途で転校を余儀なくされる灘分地区の保護者からは、例えば、部活動が中断されるとか、せっかく築いた友人関係に影響が出るなど、多

くの声が出されていることから、現在の方針を基本としながらも柔軟な見直しを検討しているところです。



新設される向陽中学校完成予想図（灘分町）

木佐 宏

虚像長岡施政を斬る 第一弾
公共事業の進め方、優先順位に矛盾



問 元町中の島線、立ち退き対象区域居住者に、既に、四十年も待たせ、わずか百メートルにも満たない事業も遅々として進行しない。一方で木綿街道だ、石橋邸の売り込みに数億円投入。誰の目線での市政執行か。通称「後川」の事業完了計画を明確に。

答 湯谷川改修事業は、平田市街地の浸水被害対策として、県において進められ、平成二十二年度は、栄橋の下部工とそれに伴う迂回路や仮橋の設置及び京塚川合流点までの用地幅杭の設置、建物調査が進められる予定です。

都市建設部長

元町中の島線の事業は、昭和三十七年に都市計画が決定されてから、約四十年手付かずでしたが、平成十七年に合併してから肅々と進めていると私は理解しています。ただ、当初から相当長い年月がかかっていることは間違いありません。

問 湯谷川拡幅については平成十八年、県土工務部長が約束した京塚川合流地点までの事業計画を財政難を口実に一方的に約束をほごにし、南橋から上流は、平成二十六年度以降見通しが立たないと放置、「平成の世直し人」は、理不尽な行政の振る舞いに猛省を促し県当局へ文書要請をした。しかし、県は突如国富で保育所の出入りが危険と歩道整備と湯谷川改修へ十億円の事



放置されてきた湯谷川中町界隈の現状

業を計画している。

都市建設部長

湯谷川改修事業は、平田市街地の浸水被害対策として、県において進められ、平成二十二年度は、栄橋の下部工とそれに伴う迂回路や仮橋の設置及び京塚川合流点までの用地幅杭の設置、建物調査が進められる予定です。

飯塚俊之

改正省エネ法への対応は



問 出雲市所管施設のエネルギー使用量（原油換算）を伺う。

環境政策調整監

出雲市所管施設の平成二十一年度のエネルギー使用量は、市長部局で一万四千四十七キロリットル、教育委員会で二千二百一キロリットル、水道局で二千四百八キロリットルになっています。

問 改正省エネ法（エネルギーの使用の合理化に関する法律）で、出雲市はエネルギー使用量を年一%以上削減させることが推進義務になる。

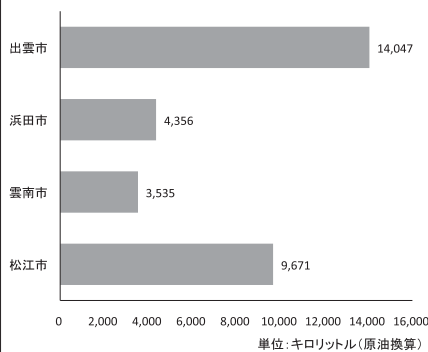
エネルギー使用量を毎年、年一%削減させることが推進義務になる。

以上削減することは、容易でないと考える。松江市と比較し、市長部局では約一・五倍もエネルギー使用量が多い。施設を統廃合、民間委譲することも、有効な手段と考える。中長期計画の方針を伺う。

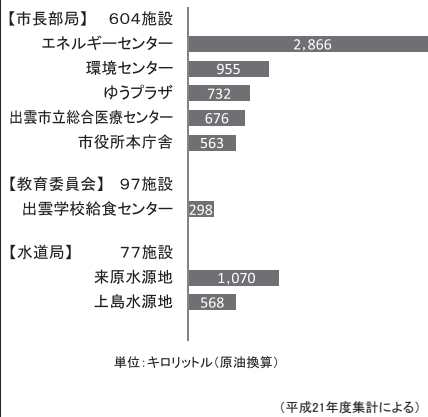
環境政策調整監

ハード面では、省エネ設備の導入など、財政状況を考慮しながら対策を進める方針です。ソフト面では、「いずもエコオフィス・アクションプログラム」や「出雲市地域省エネルギービジョン」に基づいて、職員の省エネ意識のさらなる向上を図るとともに、エネルギー消費量の管理を徹底できる体制づくりを進めていく方針です。

各市の市長部局のエネルギー使用量



エネルギー使用量の多い出雲市の所管施設



山根貞守

大工・左官業の技術の継承と後継者育成の取り組みを



問 長期景気低迷により、住宅建築が減少する中で大工・左官業の仕事が激減し、廃業を余儀なくされた方も多数いる。

長年にわたって、培われた技術も失われ、また、後継者もほとんど育たない状況である。

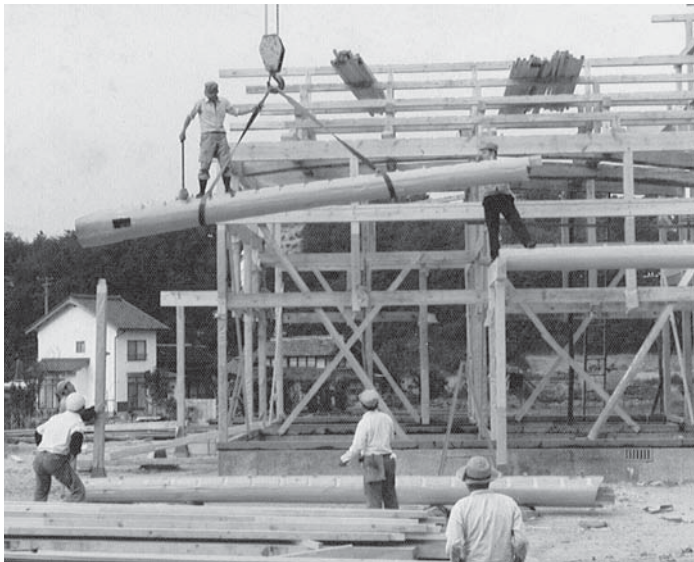
現在、農業、林業、商工業などほとんどの業種に何らかの支援がなされ、何とかそれぞれの経営が成り立つよう努力がされている。

こうした時に、大工・左官業の存続と後継者育成を行政が真剣に支援をしていく時ではないかと思うが市の考えを伺う。

財政部長

市としてもこうした伝統的な建築技術などの伝承、あるいは後継者育成というのは大きな課題だと思っています。

このことから、今年度から出雲市小規模修繕工事等希望者登録制度に大工・左官業の業種も追加し、制度の利用拡大を推進しています。また、多くの市民の皆



建築中の日本住宅

様に利用していただいている住宅リフォーム事業などにより、技術の育成や継承にも取り組んでいきます。今後、いろいろな機会を通じて建設業協会へも地元業者の育成や採用・雇用について引き続き協議を行っていきます。

遠藤力一

子宮頸がん予防ワクチンの公費助成を求める



問 子宮頸がんは、ワクチン接種と検診により、予防できる唯一のガンと言われている。

日本癌学会評議員で鳥取大学副学長の伊藤教授は、ワクチン接種費用が、三回で約五万円と高額であり、ワクチン接種が進んでいない状況であると述べている。予防できるがんはほかにないので小学校を卒業するときに、その卒業生に一斉に接種をする試みを提案している。

現在、子宮頸がんが世界的に若年化をしており、三十歳になると発生率が急上昇している。これから妊娠、出産する女性に対するワクチン接種と検診は少子化対策にもなっていく

と論究されている。予防効果の高い特定年齢層への一斉接種と、その費用の全額助成をすべきと考えるが、見解を伺う。

健康福祉部長

子宮頸がんの予防に効果のある、HPV（ヒトパピローウイルス）ワクチンについては、予防接種法に位置づけられていない任意接種ワクチンです。いわゆる個人が接種するワクチンで、昨年十月に承認されたものです。市としては、このワクチン接種は、国の責任において全額公費負担されるべきものと考えています。



女性のがん予防キャンペーン in ゆめタウン

珍部全吾

米粉。パン需要拡大を



問 政府は、新農業政策として、米粉、飼料米に対して戸別補償制度を創設した。米粉、飼料米に対し、十アール当たり八万円を補償するものである。目的は、●休耕地の有効利用 ●自給率の向上（赤松元農相によると国民全員が月に二個米粉パンを食すれば、自給率は二%向上すると発言） ●全世界的な穀物需要の増加に対しての自己防衛措置などである。現在市内に二軒の米粉パン製造、販売会社が起業された。この補償制度は、パン業者と、農家が契約し、農林水産省の出先機関に届出することになっている。米粉農家を増やすには販売拡大が必須条件である。行政として農、工、商一体となった支援が必要である。特に安定供給が出来る学校給食への利用について考えていくべきと思う。

農林水産調整監

米粉利用が拡大すれば地元米の消費拡大に貢献出来ると思っています。ただし、学校給食については、パン製造業者の技術的、設備的問題、小麦粉パンとのコスト問題、パン業者指定、パンの売り渡し価格などは県の学校給食会が行っています。

これらの状況から現在ではさまざまなハードルがあります。県知事要望などを含め導入への取り組みを進めます。



市内で製造された米粉パン

宮本 享

看護学校の誘致に どのように取り組むのか



問 現在、地域医療の崩壊が叫ばれており、全国的にも、また島根県でも大きな問題である。その中でも医師、看護師の不足は極めて深刻な状況にあり、この問題解決は喫緊の課題でもある。現在、看護師を志望している県内の高校生のうち毎年百名以上が県外へ進学している。若者定住という観点からも、看護学校の誘致は大きな意義があると考えらる。

市長

市としては、この問題に対して、西日本で看護系専門学校を経営している二十一法人に意向調査を行っている。結果、その内二法人から関心ありとの回答を得、それぞれの法人から用地・建物など、初期投資への支援を強く要望されました。これらの支援内容について現在検討をしているところです。

できる限りの支援をして、島根県立大学の四年制化の時期と歩調を合

わせて、この看護学校の誘致実現を一日も早くと覚悟し、鋭意努力していきたいと考えています。



看護学科のある県立大学短期大学部出雲キャンパス

福代秀洋

特別警戒区域を指定するのか



問 土砂災害防止法に基づく、特別警戒区域の指定作業が、出雲市でも進められている。指定されると、増改築の際、防護壁の設置が必要になるなど、住民、地権者には利益な面が多々ある。対象地域には、優先的にハード・ソフトの整備を行うべきだと考えるので、次の点について伺う。

- ①現状と指定の時期
- ②他の自治体の状況
- ③今後の方針

市長

①現在市内十一地区で調査が終了し、地元説明会を行っている最中です。二十三年度中には市内全地区での説明会を終了する考えです。仮に、指定を受けるとすれば、早くて二十四年度になります。

②県内においては旧江津市区域、松江、東出雲町において調査が終了しています。このうち旧江津市区域のみで指定されています。

③調査の実施により危険箇所が明らかになることはきわめて重要なことです。しかし、指定により新たな住民負担を伴う可能性があり、また現行の支援事業ではまだまだ不十分で



急傾斜地の崩落（小伊津町）

す。指定については慎重に進めていくべきだと考えています。指定するしないにかかわらず、対象地域への情報伝達や避難勧告など適宜適切に行ってまいります。

高野成俊

小中学校への猛暑対策を



問 観測史上記録的な猛暑の中、市内の小、中学校も夏休みが終わり、二学期が始まっている。学校では強い日差し、校舎の照り返しなどで室温が三十度を超え、暑さのため気分が悪くなった生徒もいると聞いている。

児童生徒が快適に学習できる環境を整えることは、学校を運営している自治体の責任である。近年の厳しい暑さに対応するため、小中学校普通教室に冷房機など空調設備を導入する考えはないか。他の自治体においてはエアコンを100%設置しているところもある。

教育長

現在、市内の小、中学校の普通教室にエアコンを設置することは、設置費が約十四億円、維持管理費年間五千三百万円と、多額な経費を要することから直ちに設置する計画はありません。

各学校では、送風、通風の確保、打ち水、テントやグリーンカーテンでの遮光対策など工夫が行われています。

今後は、毎年の気温の推移、国の支援措置の動向や、他の自治体の状

況などを勘案して、総合的に判断をしていきたいと考えています。



プレハブ校舎のため空調設備のある西田小学校

視察報告

文教厚生委員会

子どもを守り・育むための取り組みとは

八月二十五日～八月二十七日

昨年七月に市内で起こった触法少年の痛ましい事件発生から、文教厚生委員会としてなすべきことは何かを模索してきました。

二度と再びあのような悲惨な事件を引き起こさないために、また子どもたちが健全に暮らすためにどうすべきか、石川県金沢市の「子ども条例」、そして新潟県三条市の「子ども・若者総合サポートシステム」について視察を行いました。

「子ども条例」は、子どもたちを取り巻く環境が変化する中、子どもたちを市民みんなで育てていくことを目指して平成十四年に制定されました。大人の責務、基本的な施策、推進体制が定められ、行動計画において、具体的に何をしていくのかが制定されており、家庭・地域・企業は「行動指針」、学校・行政は「行動計画」として表されていました。

金沢市では、十月の第二日曜日から一週間を「金沢子ども週間」としています。地域や学校、児童館によるステージやバザー、子どもの活動

や発表を通じ、ふれあいを深めるとともに、子どもを育てる大人の役割の大切さを考える機会として、本市にはない施策であり参考になりました。

(遠藤力一 記)



子ども条例の説明を受ける文教厚生委員（金沢市）

議会運営委員会

市民参加の議会を目指した改革への取り組み

七月二十一日～七月二十三日

本市議会は、平成十九年十二月議会初日、全国の地方議会の中でも七番目という早い時期に議会基本条例を制定しました。

出雲市の議会基本条例には、議会報告会は、「議員又は会派」が行うことと定めています。今回の視察では、「市議会」として議会報告会を行うことを条例に定め、実施し、議会改革に取り組んでいる三市議会を訪問し、調査を実施しました。

①埼玉県鶴ヶ島市では、毎年四月に開催している議会報告会の取り組み内容と市民アンケートの結果について。②長野県飯田市では、議会による行政評価を行い執行部へ提言書を提出し、次年度予算に結びつける流れと議会報告会開催要領について。③長野県松本市では、議会基本条例を実効性あるものとするための「施策推進組織」設置の経緯と概要について、それぞれ質疑を行いました。いずれの議会も、条例を制定するまでに、市民からの意見も反映し、十分な時間をかけて議論し議

決されていました。出雲市議会としては、二元代表制の一方の機関として、政策決定とあわせ、政策提言を行うために、更なる議会改革推進の思いを強くしました。

(板倉明弘 記)



埼玉県鶴ヶ島市議会藤原議長からあいさつを受ける議会運営委員

	飯塚俊之	板垣成二	狩野正文	木佐宏	西村亮	小村吉一	大國陽介	松村豪人	遠藤力一	山根貞守	萬代輝正	板倉一郎	多々納剛人	川上幸博	曾田盛雄	福代秀洋	高野成俊	広戸恭一	直良昌幸	坂根守	板倉明弘	萬代弘美	勝部順子	米山広志	宮本享	原隆利	多久和康司	荒木孝	長廻利行	古福康雅	珍部全吾	杉谷寿之	寺田昌弘	山代裕始	
議第22号	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第26号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第27号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第28号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第29号	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第30号	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第32号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第33号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第34号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第35号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第36号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第37号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第38号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第39号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第40号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第41号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第42号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第1号	○	○	○	●	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第6号	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長

○：賛成、●：反対、除斥：議案と一定の利害関係を有する議員は、採決の際に退席することとなっています。

採決の結果

番号	件名	審議結果	賛成	反対
平成22年度(2010)第2回定例会				
議第22号	平成22年度(2010)出雲市一般会計第3回補正予算	原案可決	32	1
議第23号	平成22年度(2010)出雲市国民健康保険事業特別会計第1回補正予算	原案可決	33	0
議第24号	平成22年度(2010)出雲市老人保健医療事業特別会計第1回補正予算	原案可決	33	0
議第25号	平成22年度(2010)出雲市介護保険事業特別会計第1回補正予算	原案可決	33	0
議第26号	平成22年度(2010)出雲市下水道事業特別会計第1回補正予算	原案可決	33	0
議第27号	出雲市乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例	原案可決	33	0
議第28号	出雲市火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決	33	0
議第29号	出雲市水道事業給水条例及び出雲市簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例	原案可決	29	4
議第30号	出雲市公共下水道使用料条例等の一部を改正する条例	原案可決	28	5
議第31号	ひらた健康福祉センターの設置及び管理に関する条例	原案可決	33	0
議第32号	出雲市飯の原農村公園の設置及び管理に関する条例	原案可決	33	0
議第33号	出雲市過疎地域自立促進計画の策定について	原案可決	33	0
議第34号	備品の取得について(消防ポンプ自動車)	原案可決	33	0
議第35号	農業担い手法人化促進資金の返還免除について	原案可決	33	0
議第36号	農業担い手法人化促進資金の返還免除について	原案可決	33	0
議第37号	農業担い手法人化促進資金の返還免除について	原案可決	33	0
議第38号	出雲市畜産経営維持緊急支援資金の返還免除について	原案可決	33	0
議第39号	字の区域の変更について	原案可決	33	0
議第40号	市道路線の廃止について	原案可決	33	0
議第41号	市道路線の認定について	原案可決	33	0
議第42号	出雲市火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決	33	0
認第1号	平成21年度(2009)出雲市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	22	11
認第2号	平成21年度(2009)出雲市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	30	3
認第3号	平成21年度(2009)出雲市国民健康保険橋波診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第4号	平成21年度(2009)出雲市診療所事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第5号	平成21年度(2009)出雲市老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第6号	平成21年度(2009)出雲市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	29	4
認第7号	平成21年度(2009)出雲市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	30	3
認第8号	平成21年度(2009)出雲市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第9号	平成21年度(2009)出雲市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第10号	平成21年度(2009)出雲市農業・漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第11号	平成21年度(2009)出雲市浄化槽設置事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第12号	平成21年度(2009)出雲市風力発電事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第13号	平成21年度(2009)出雲市ご縁ネット事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第14号	平成21年度(2009)出雲市企業用地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0

	飯塚俊之	板垣成二	狩野正文	木佐宏	西村亮	小村吉一	大国陽介	松村豪人	遠藤力一	山根貞守	萬代輝正	板倉一郎	多々納剛人	川上幸博	曾田盛雄	福代秀洋	高野成俊	広戸恭一	直良昌幸	坂根守	板倉明弘	萬代弘美	勝部順子	米山広志	宮本享	原隆利	多久和康司	荒木孝	長廻利行	古福康雅	珍部全吾	杉谷寿之	寺田昌弘	山代裕始	
認第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第17号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認第20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第4号	○	○	○	●	○	●	除斥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第5号	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第3号	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第4号	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長
議長

○：賛成、●：反対、除斥：議案と一定の利害関係を有する議員は、採決の際に退席することとなっています。

斐川町との 合併協定に調印

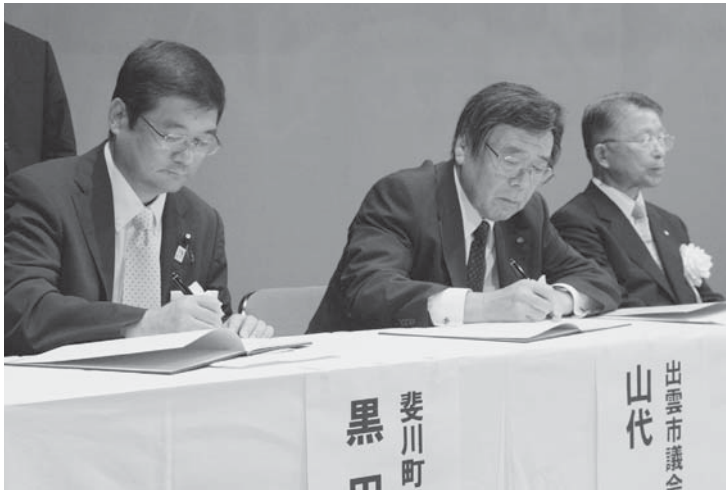
市議会では、合併協議会における適切な議論が円滑に進むよう、出雲・斐川合併特別委員会を中心に議論を進めてきました。合併協議会では、八月二十五日の第七回の協議会で、新市建設計画などすべての協定項目について協議が終了しました。これを受けて九月十一日（土）には、斐川町中央公民館大ホールにおいて合併協定調印式が開催されました。溝口島根県知事、山代出雲市議会議長、黒田斐川町議会議長の立会いのもと、長岡出雲市長、勝部斐川町長が合併協定書に調印しました。

今後、合併には、両市町議会で合併関連議案の審議し、議決することが必要となります。

合併協議会での主な決定事項は、次のとおりです。

【合併の期日】

平成二十三年十月一日です。



立会人として署名する両市町議会議長

番号	件名	審議結果	賛成	反対
認第15号	平成21年度(2009)出雲市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第16号	平成21年度(2009)出雲市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第17号	平成21年度(2009)出雲市高野令一育英奨学事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第18号	平成21年度(2009)出雲市廃棄物発電事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	33	0
認第19号	平成21年度(2009)出雲市水道事業会計決算認定について	認定	33	0
認第20号	平成21年度(2009)出雲市病院事業会計決算認定について	認定	33	0
諮第2号	人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて	同意	33	0
諮第3号	人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて	同意	33	0
諮第4号	人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて	同意	33	0
請願第4号	2011年度(平成23年度)私立認可保育所(園)関係予算等についての請願	採択	22	3
請願第5号	子宮頸がんの予防ワクチン接種への公費助成と、乳がん・子宮頸がんの無料検診の継続実施についての請願	趣旨採択	26	7
陳情第3号	出雲市防災行政無線の設置及びデジタル化に伴う住民負担の無料化についての陳情	採択	27	6
陳情第4号	平成23年度出雲市農業振興施策確立に関する陳情	採択	30	1
意見書第2号	緊急的な米需給調整対策にかかる意見書	原案可決	33	0

【議会議員の定数及び任期の取り扱い】

合併の日から平成二十五年四月十六日まで、出雲市の議会では、出雲市の議会の議員の定数三十四人に、合併前の斐川町の区域に設けられる選挙区から選出される議員六人を加えた四十人となります。その後は、定数三十四人に戻ります。

今後の予定

●平成二十二年十一月

出雲市・斐川町の両議会でも合併関連議案を審議、議決

(一) 廃置分合(合併)について

(二) 廃置分合(合併)に伴う財産処分に関する協議について

(三) 廃置分合(合併)に伴う経過措置に関する協議について

県知事へ合併申請

●平成二十二年十二月

県議会でも合併議案を審議、議決

県知事決定

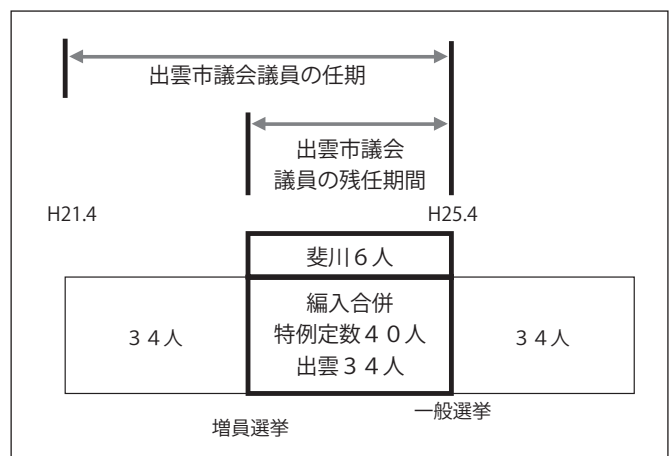
総務大臣へ届出

●平成二十三年一月下旬

総務大臣告示

●平成二十三年十月一日

正式合併成立



議会活動 (7月～9月に開催された会議)

7月 1日(木)	広報委員会 斐伊川・神戸川治水対策特別委員会	8月 3日(火)	理事会
5日(月)	全国市議会議長会基地協議会第73回理事会 広報委員会	9日(月)	神戸川発電用水検討協議会現地視察
7日(水)	広報委員会	11日(水)	出雲・斐川合併特別委員会
12日(月)	出雲・斐川合併特別委員会	19日(木)	神戸川発電用水検討協議会講演会
20日(火)	出雲・斐川合併特別委員会	24日(火)	議会運営委員会 出雲・斐川合併特別委員会 全員協議会
21日(水)	一畑電車沿線議員連絡協議会	25日(水)	環境経済委員会協議会
27日(火)	全国市議会議長会基地協議会中国・四国 部会定期総会	8月31日～	第2回定例会
29日(木)	神戸川発電用水検討協議会 島根県市議会議長会 議員研修会	9月28日	
30日(金)	議会運営委員会 全員協議会 建設水道委員会協議会	8月 31日(火)	議会運営委員会 全員協議会
		9月 3日(金)	議会運営委員会
		6日(月)	広報委員会
		24日(金)	議会運営委員会 神戸川発電用水検討協議会
		28日(火)	理事会 全員協議会

議会一口メモ

決算特別委員会

前年度の予算の執行実績である決算について、収入や支出の内容が適法か、あるいは正当に行われたかを確認し、認定するかどうかを集中的に審査を行う委員会です。出雲市議会では、毎年9月定例会において、特別委員会を設置して、概ね4日間にわたり一般会計、特別会計および公営企業会計すべての会計の決算を審査しています。

編集後記

今年の夏は大変な猛暑で九月に入ってもしばらく続きましたが、九月議会が終わる頃は、平年より涼しくなりました。

九月議会では長岡市政の初年度の決算の認定がありました。

九月議会において、決算特別委員会が設置され、二十一年度予算が的確に行われたかどうか、チェックと評価がされ、予算執行が不的確であった事業予算については、二十二年度の予算執行に反映するよう、的確な対応を求めました。

財政が厳しいなかで事業をゼロベースから見直す事業仕分け「ゼロベース評価委員会」が十月二日・三日と二日間開催され、市民の厳しい判定が下されました。

議会としても事業の検証を行い、事業を見直すときは、見直しを求めて行く必要があります。

多久和康司

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員		
原 隆	飯 俊	板 成	狩 正	小 吉	山 貞	川 幸	広 恭	直 昌	勝 順	多 和	古 康	坂 裕	山 代

広報委員会

議会にお問い合わせは

出雲市議会事務局

〒693-8530 出雲市今市町70

TEL: (0853) 21-6579 FAX: (0853) 21-6251
 URL: <http://www.city.izumo.shimane.jp/>
出雲市ホームページの中の 出雲市議会 をクリック

メール: gikai@city.izumo.shimane.jp